

「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～ 第4回

1. 実施日

令和4年5月12日（木）5，6限

2. 場所

1棟多目的教室（北・南）

3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 6組 ミューリニコラス 矢野 和久
7組 戸田 雄一郎 佐々木 啓成

5. 内容

講演：「課題研究」と「まちづくり」の間を考える

講師： 京都大学 神吉紀世子 先生

- (1) 「課題研究」とは？「まちづくり」とは？について考える。
- (2) 「まちづくりそのものだと思うワード」、「少しはまちづくりに関係があるワード」について4人グループで意見を共有する。
- (3) まちづくり研究の今昔を学ぶ。
- (4) 「課題研究」の進め方を学ぶ。アプローチ方法と着地点の決定を学ぶ。
- (5) 「まちづくり」の「課題研究」に対するアプローチ方法と着地点について学ぶ。
- (6) 京都市内の「コミュニティ」と「まちづくり」の関係性について学ぶ。

6. 学び

- (1) 「まちづくり」と一言で言っても人によって多様な捉え方があることを学んだ。
- (2) 「課題研究」と「まちづくり」についての概念を学ぶ中で、どのような落とし込みをすれば上手くまとめられるかを学んだ。

7. 次回への課題

今後研究テーマを決定することになるが、狭い視野で考えるのではなく、他の生徒とのディスカッションを活発に行って、多角的に考えることが必要である。

8. 授業の振り返り

まちづくりに深く関連のあるものと、関連が薄いものとのグループ内で出し合う活動では、一人ひとりが付箋紙にアイデアを出しながら、活発なディスカッションができていた。グループの意見を全体で発表するときには、挙手をして積極的に発言する姿が見られた。この講義で得たことをこれから本格化するグループ研究に活かしてほしい。